

光化学スモッグ（高濃度の光化学オキシダント） の原因究明及び対策に関する緊急要望

緊急要望

- 1 九州地方知事会では、高濃度の光化学オキシダントについて広域的な視点からの緊急時対応が可能となるよう、各県間の連絡体制の強化を図っていくこととしている。
- 2 しかしながら、近年みられる高濃度の光化学オキシダントは、工場・事業場の立地が少ない地域でも観測され、汚染も広範囲に及ぶことから、その原因として、大陸からの移流等の可能性が指摘されている。
- 3 このため、国において早急に汚染原因を特定していただくとともに、必要な場合は、国際的な対応も視野に入れた光化学オキシダント対策に取り組んでいただくよう要望する。

（理由）

九州・山口地域においては、近年、高濃度の光化学オキシダントが出現する傾向にある。

特に昨年は、長崎県と熊本県で観測史上初の光化学スモッグ注意報が各1日ずつ発令されたところであるが、本年は昨年より1月以上早く、4月26日には北九州市で、27日には長崎県（佐世保、西海、五島の3市）と熊本県（天草の2市町）で光化学スモッグ注意報が発令され、その後5月9日までに長崎・大分・福岡・熊本・山口の5県で注意報が発令されている。

これらの特徴として、都市部に限らず、風光明媚で大気環境も良好な島嶼なども含まれており、工場・事業場や自動車の排気ガスの影響が少ない地域でも高濃度の光化学オキシダントが観測されていることがあげられる。

汚染の原因については、これまでの国立環境研究所と地方環境研究所の共同研究により大陸からの移流や成層圏からのオゾン降下の影響が示唆されているが、明確にはなっていない。

この問題は、九州・山口地域全域に及ぶ広域的な大気汚染であり、また、子どもや屋外で活動する人たちをはじめ地域住民の健康への影響は計り知れず、国民の安全・安心を守るという観点から、国においては早急に原因究明とその対策を進めていただきたい。

平成19年5月

九州地方知事会